



第63期 決算のご報告

2018年4月1日から 2019年3月31日まで

エスケー化研株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。
第63期決算のご報告に際しまして、ご挨拶を申し上げます。

今日の経済環境は、人手不足を背景に雇用及び所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国と中国の通商問題が世界に与える影響や、中国をはじめとしたアジア新興国等の景気下振れリスク、さらに国内の相次ぐ自然災害など、先行きが不透明な状態で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、常に、「無から有」をモットーに、「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」をキーワードとして、国内外において総合建築塗材・新型化学建材の分野を拡大しながら、技術革新に挑み、新技術・新製品及び新市場の開発に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績におきましては、売上面では技術革新による各種製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努め、前期比4.1%増となりました。利益面では高付加価値製品の販売拡大に努め、原材料の高騰がありました。為替変動により経常利益が前期比2.8%増となりました。次年度は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな景気回復が期待されますが、国内においては10月に予定されています消費税増税の影響や日常消費への節約志向の継続が考えられ、また、海外では米国の動向を中心とした海外の影響が懸念され、引き続き不透明な経営環境が続くと思われ。一方、建築塗料業界におきましては、首都圏・都市部を中心とした再開発やインバウンドによる宿泊施設等の需要が見込まれます。しかし、人手不足に起因した人件費の高騰や工事の遅れ、原材料、物流費の高騰等が引き続き予測され、厳しい経営環境で推移するものと考えられます。その中で全社員一丸となって業績向上に努力邁進してまいります。

そして、更なる社内組織体制と国内外拠点の充実を図り、オンリーワン・ナンバーワン企業としての躍進を目指し、グローバルな総合化学塗材・建材メーカーとして、今後より一層のハイレベルな技術開発力で、日本及びアジアの国々の建築文化の創造に貢献し、大きく国内外に飛躍してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも深いご理解と、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

藤井 実広



省力化

快適

健康安全

安心

建築内外の環境性向上

資産価値の向上

建築用総合塗材国内シェアNo.1[※]

※2018年日本建築仕上材工業会調べ



企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、人手不足を背景に雇用及び所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国と中国の通商問題が世界に与える影響や、中国をはじめとしたアジア新興国等の景気不振、リスクや国内の相次ぐ自然災害など、先行きが不透明な状態で推移いたしました。

建築塗料業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発やインバウンドによる宿泊施設等の需要が進行しております。一方、建築現場の慢性的な労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗料や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績といたしましては、売上高は、950億69百万円(前年同期比4.1%増)となりました。利益面におきましては、原材料費等の増加がありました。経費削減を行い、営業利益は、114億53百万円(同0.5%増)、経常利益は、為替変動の影響等により116億50百万円(同2.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、77億81百万円(同1.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 建築仕上塗料事業

建築仕上塗料事業におきましては、新築需要が減少いたしました。また、リニューアル市場においては超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行なった事により、売上高は858億30百万円(同3.4%増)と前連結会計年度に比べて28億46百万円の増収となりました。セグメント利益は127億69百万円(同0.2%増)と前連結会計年度に比べて22百万円の増益となりました。

② 耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏、都市部の再開発事業における受注が拡大しており、売上高は73億32百万円(同12.6%増)と前連結会計年度に比べて8億23百万円の増収となりました。セグメント利益は、7億93百万円(同11.5%増)と前連結会計年度に比べて81百万円の増益となりました。

③ その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は19億6百万円(同3.6%増)と前連結会計年度に比べて66百万円の増収となりました。セグメント利益は1億24百万円(同32.5%減)と前連結会計年度に比べて60百万円の減益となりました。

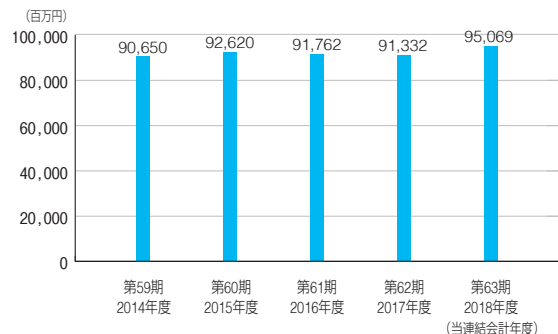
企業集団が対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内経済は雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな景気回復に向かう一方、今年10月に予定されている消費税増税の影響や日常消費への節約志向の継続、更には米国の動向を中心とした海外の影響も懸念され、引き続き不透明な経営環境が続くと思われれます。

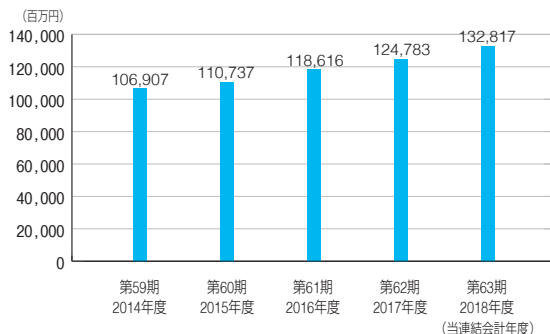
一方、建築塗料業界におきましては、首都圏・都市部を中心とした再開発やインバウンドによる宿泊施設等の需要が見込まれますが、労務者不足に起因した人件費の高騰や工事の遅れ、原材料、物流費の高騰が引き続き予測され、厳しい経営環境で推移するものと考えられます。

このような状況の下、当社グループといたしましては、「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」の五つのテーマの需要開発に努めると共に、「多くの顧客に利益と喜びを与え、社会に貢献することを最大の使命」とする経営理念や社是・社訓に基づいた事業活動を進めております。そして、コーポレートガバナンス体制を重視した社内組織体制の一層の充実を図り、より一段と国内外の新市場の開発に尽力し、持続可能な新技術革新、新製品の開発を通じて会社業績向上に努めてまいります。

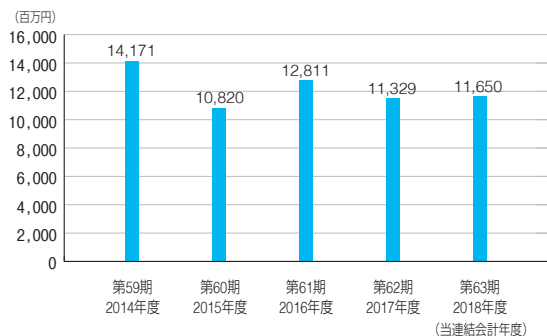
売上高



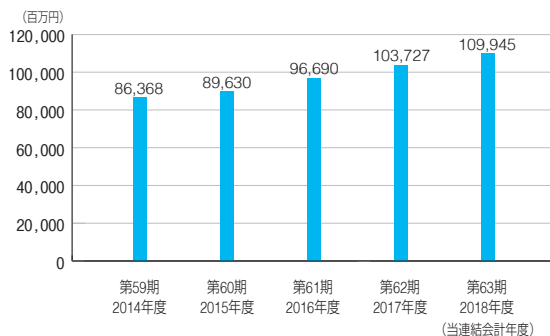
総資産



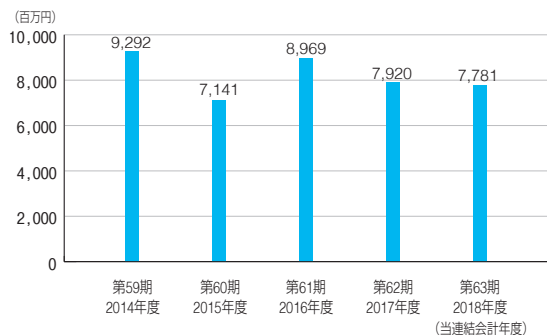
経常利益



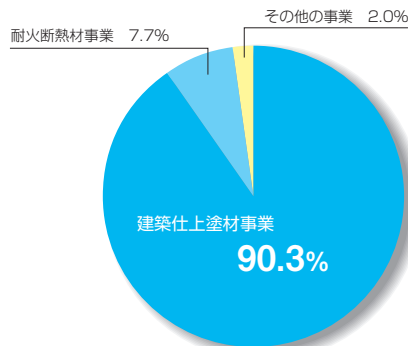
純資産



当期純利益



事業区分別売上高構成比



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	106,189	115,599
現金及び預金	78,771	86,971
受取手形及び売掛金	19,704	20,766
商品及び製品	1,933	1,971
仕掛品	1,017	1,000
未成工事支出金	198	318
原材料及び貯蔵品	4,193	4,086
その他	424	558
貸倒引当金	△ 54	△ 73
固定資産	18,593	17,218
有形固定資産	13,723	12,282
建物及び構築物	4,416	3,803
機械装置及び運搬具	608	287
土地	8,386	8,089
建設仮勘定	226	35
その他	85	66
無形固定資産	1,172	857
投資その他の資産	3,697	4,078
投資有価証券	14	12
繰延税金資産	912	810
退職給付に係る資産	565	743
その他	2,380	2,654
貸倒引当金	△ 176	△ 142
資産合計	124,783	132,817

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	18,522	20,188
支払手形及び買掛金	5,596	5,940
短期借入金	3,030	3,064
未払金	5,557	6,018
未払法人税等	1,427	2,151
賞与引当金	1,455	1,500
役員賞与引当金	67	81
製品保証引当金	44	54
その他	1,342	1,378
固定負債	2,532	2,683
繰延税金負債	56	63
役員退職慰労引当金	1,133	1,157
退職給付に係る負債	68	142
その他	1,275	1,320
負債合計	21,055	22,872
(純資産の部)		
株主資本	102,663	109,567
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	106,376	113,282
自己株式	△ 9,512	△ 9,513
その他の包括利益累計額	1,064	377
その他有価証券評価差額金	2	0
為替換算調整勘定	1,106	397
退職給付に係る調整累計額	△ 43	△ 20
純資産合計	103,727	109,945
負債純資産合計	124,783	132,817

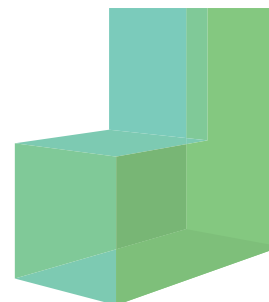
※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで		当連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	
	売上高		91,332	
売上原価		63,126		66,606
売上総利益		28,206		28,462
販売費及び一般管理費		16,806		17,009
営業利益		11,399		11,453
営業外収益				
受取利息	252		418	
受取配当金	0		0	
保険返戻金	173		—	
為替差益	—		643	
その他	160	587	194	1,256
営業外費用				
支払利息	9		9	
減損損失	—		1,021	
為替差損	638		—	
その他	9	657	27	1,058
経常利益		11,329		11,650
税金等調整前当期純利益		11,329		11,650
法人税、住民税及び事業税	3,326		3,765	
法人税等調整額	81	3,408	102	3,868
当期純利益		7,920		7,781
非支配株主に帰属する当期純利益		—		—
親会社株主に帰属する当期純利益		7,920		7,781

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	2,662	3,137	106,376	△ 9,512	102,663	2	1,106	△ 43	1,064	103,727
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△ 876		△ 876					△ 876
親会社株主に帰属する当期純利益			7,781		7,781					7,781
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額（純額）						△ 1	△ 708	23	△ 687	△ 687
当連結会計年度変動額合計	—	—	6,905	△ 0	6,904	△ 1	△ 708	23	△ 687	6,217
当連結会計年度末残高	2,662	3,137	113,282	△ 9,513	109,567	0	397	△ 20	377	109,945

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (2018年3月31日現在)	当事業年度 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	90,178	99,521
現金及び預金	67,071	75,378
受取手形	6,183	6,338
売掛金	11,593	12,563
商品及び製品	1,460	1,451
仕掛品	953	945
未成工事支出金	141	314
原材料及び貯蔵品	2,367	2,284
その他	526	485
貸倒引当金	△ 119	△ 239
固定資産	20,997	20,065
有形固定資産	11,087	10,860
建物	2,929	2,769
構築物	82	130
機械及び装置	229	180
車両運搬具	10	11
工具器具及び備品	57	45
土地	7,754	7,687
建設仮勘定	22	35
無形固定資産	154	134
ソフトウェア	137	117
その他	17	16
投資その他の資産	9,756	9,070
投資有価証券	13	11
関係会社株式	3,713	3,385
長期貸付金	2,334	2,253
繰延税金資産	1,572	1,762
差入保証金	961	937
その他	1,739	1,814
貸倒引当金	△ 381	△ 362
投資損失引当金	△ 198	△ 732
資産合計	111,175	119,587

科 目	前事業年度 (2018年3月31日現在)	当事業年度 (2019年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	16,392	18,214
支払手形	1,143	1,402
買掛金	3,707	3,897
短期借入金	3,030	3,000
未払金	4,682	5,153
未払費用	529	553
未払法人税等	1,416	2,150
未払消費税等	251	336
賞与引当金	1,401	1,452
役員賞与引当金	67	81
製品保証引当金	26	39
その他	137	147
固定負債	2,481	2,525
預り保証金	1,274	1,313
退職給付引当金	74	54
役員退職慰労引当金	1,133	1,157
負債合計	18,874	20,740
(純資産の部)		
株主資本	92,299	98,846
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
資本準備金	3,137	3,137
利益剰余金	96,013	102,560
利益準備金	455	455
その他利益剰余金	95,558	102,105
固定資産圧縮積立金	19	18
別途積立金	87,550	93,750
繰越利益剰余金	7,988	8,337
自己株式	△ 9,512	△ 9,513
評価・換算差額等	2	0
その他有価証券評価差額金	2	0
純資産合計	92,301	98,847
負債純資産合計	111,175	119,587

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで		当事業年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	
	売上高		78,194	
売上原価		54,554		58,004
売上総利益		23,639		24,393
販売費及び一般管理費		13,147		13,826
営業利益		10,492		10,567
営業外収益				
受取利息	137		262	
為替差益	—		652	
保険返戻金	173		—	
その他	202	513	159	1,073
営業外費用				
支払利息	9		9	
為替差損	676		—	
投資損失引当金繰入額	15		534	
関係会社株式評価損	127		328	
その他	4	833	19	891
経常利益		10,172		10,749
税引前当期純利益		10,172		10,749
法人税、住民税及び事業税	3,097		3,515	
法人税等調整額	△ 13	3,083	△ 189	3,325
当期純利益		7,088		7,423

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計		その他 有価証券 評価 差額金	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
			固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
当 期 首 残 高	2,662	3,137	455	19	87,550	7,988	96,013	△ 9,512	92,299	2	2	92,301
当 期 変 動 額												
固定資産圧縮積立金の取崩				△ 1		1	—		—			—
別途積立金の積立					6,200	△ 6,200	—		—			—
剰余金の配当						△ 876	△ 876		△ 876			△ 876
当期純利益						7,423	7,423		7,423			7,423
自己株式の取得								△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）										△ 1	△ 1	△ 1
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	△ 1	6,200	349	6,547	△ 0	6,546	△ 1	△ 1	6,545
当 期 末 残 高	2,662	3,137	455	18	93,750	8,337	102,560	△ 9,513	98,846	0	0	98,847

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 国内実績



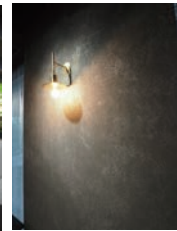
聖橋長寿命化工事 (RCアーチ)
セラミクリートF



東急ハーヴェストクラブ
軽井沢&VIALA
サンドエレガントEX、サンドエレガントIN
ファインFR工法IN、ベルアート、ルーフスターSi、ノキフレッシュ他



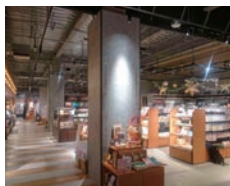
京王プレミアホテル
京都烏丸五条
グラニビエール木目CO-A、セラミクリーン、セラミクリートF



三田平和ビル1F北側改修工事
ファインFR工法IN



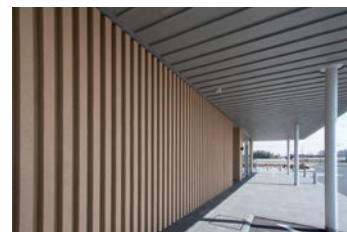
TSUTAYA BOOKSTORE
ファインFR工法IN



イオンモール宮崎
グラニビエール木目調 (OS-A、OS-B)
パールエレガント (ウェーブ)、他



いわき市立いわき市医療センター
グラニクイーン、水性セラタイトF
セラタイカ2号不燃



板倉町役場庁舎
サンドエレガント (プレス仕上げ、ラフ仕上げ)
SKタイカシート、セラミクリートガードF

物に採用され、それぞれの国の建築文化の向上に大きく貢献しています。

■ 海外実績



Irama Wangsar Condominium マレーシア
 アクリスターファイン、水性クールタイトライト



港珠澳大橋 中国
 SKK水性セラミクリートSi
 水性セラミクリートF



Pacific Century Place Jakarta
 ジャカルタ、インドネシア
 セラタイカ2号



Macau Border Gate Terminal マカオ
 スーパーセラタイトF



重慶陽光100ヒマラヤ 中国
 SKKエレガストーン特殊仕上げ



LAVIE ALL SUITES APARTMENT ジャカルタ
 グラニビエーレ御影調



Tanjong Pagar Centre
 (Guoco Tower) シンガポール
 インターマット
 アルキッドエナメル



中国尊 中国
 セラタイカ2号



深圳香港中文大学 中国
 SKKグラノスターNEO



Grand NAPA 香港
 グラニクイーン

4 5 6 7 8 9

5月 ▼藤井社長が日本塗料工業会の理事に就任



6月 ▼建築材料・住宅設備総合展
[KENTEN2018] 出展



6~7月 ▼SKK住宅施工店会総会



4月 ▼弊社ホームページ内に「高意匠装飾仕上建材シリーズ」
の専用サイトがオープン



6月 ▼国際食品工業展
[FOOMAJAPAN2018] 出展



8月 ▼鹿児島営業所／増築



10 11 12 1 2 3

1月

▼新春交礼会／東京・大阪・名古屋にて開催



11月

▼インテリアトレンドショー
「JAPANTEX2018」出展



2月

▼松山営業所／移転



3月

▼本社ビル／エントランス、各階ロビー改修



[4月]

一液弱溶剤形変性エポキシ樹脂さび止め塗料「エスケーエポサビα」開発

[5月]

内外装用特殊ファンデーションローラー塗装工法「ファインFR工法」開発

弱溶剤形塗料専用つや消し剤「SKつや消し剤」開発

弱溶剤形木部下塗材「SK木部下塗材」開発

[8月]

ふっ素樹脂系サンドセラミック調装飾仕上塗材「サンドエレガントF」開発

会社概要 (2019年3月31日現在)

設 立 1958年4月17日

資 本 金 26億62百万円
連 結 純 資 産 1,099億45百万円

企 業 集 団 の 従 業 員 数 2,177名 (臨時従業員を除く)

事 業 内 容

- 建築仕上塗材事業
有機無機水系塗材、合成樹脂塗料、無機質系塗材、高級内装装飾材、高意匠性内外シート建材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
- 耐火断熱材事業
断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負
- その他の事業
各種化成品の製造販売

■ 役 員 (2019年6月28日現在)

代表取締役会長	藤 井 實	取 締 役	竹 内 正 博
代表取締役社長	藤 井 実 広	取 締 役	片 岡 秀 人
専務取締役	坂 本 雅 英	取 締 役	長 澤 啓 三
取 締 役	藤 井 訓 広	常 勤 監 査 役	本 竜 坦 道
取 締 役	福 岡 透	監 査 役	古 越 浩 二
取 締 役	伊 藤 義 之	監 査 役	濱 名 正 二

■ 主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD. (シンガポール)

SKK (HK) CO.LTD. (香港)

H.K.SHIKOKU CO.LTD. (香港)

SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.LTD. (中国上海)

SIKOKUKAKEN (LANGFANG) CO.LTD. (中国廊坊)

SK KAKEN (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SK COATINGS SDN.BHD. (マレーシア)

SK KAKEN (THAILAND) CO.LTD. (タイ)

SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.LTD. (タイ)

SKK VIETNAM CO.LTD. (ベトナム)

PT SKK KAKEN INDONESIA (インドネシア)

PT SKK KAKEN KONSTRUKSI (インドネシア)

PT SKK KAKEN DISTRIBUTUBISI (インドネシア)



本社



SKKグローバルセンター



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.LTD.



北京事務所 / 北京分公司



SKK (HK) CO.LTD.



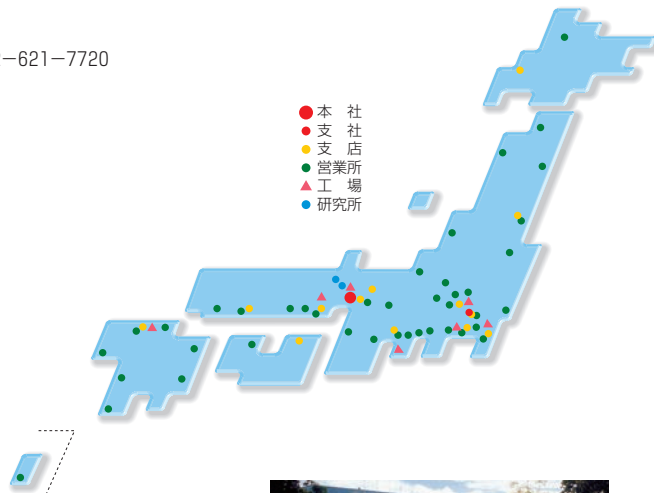
第一技術研究所



第二技術研究所

■ 国内主要事業所 (2019年6月28日現在)

本 社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25	TEL.072-621-7720
本 部	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25	
国 際 事 業 本 部	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25	
東 京 支 社	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18	
札 幌 支 店	〒065-0042	札幌市東区本町二条10-2-39	
仙 台 支 店	〒983-0013	仙台市宮城野区中野1-5-12	
東 京 支 店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18	
千 葉 支 店	〒263-0003	千葉市稲毛区小深町122-1	
埼 玉 支 店	〒337-0051	さいたま市見沼区東大宮6-30-48	
横 浜 支 店	〒244-0801	横浜市戸塚区品濃町549-2	
名 古 屋 支 店	〒451-0044	名古屋市西区菊井2-14-19	
京 都 支 店	〒612-8415	京都市伏見区竹田中島町263	
大 阪 支 店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-31	
神 戸 支 店	〒652-0807	神戸市兵庫区浜崎通5-1	
広 島 支 店	〒731-5161	広島市佐伯区五日市港2-1-5	
高 松 支 店	〒761-8073	高松市太田下町2585-3	
福 岡 支 店	〒813-0062	福岡市東区松島5-6-16	
大 利 根 工 場	〒303-0044	茨城県常総市菅生町57-1	
埼 玉 工 場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-6	
神 奈 川 工 場	〒252-0012	神奈川県座間市広野台2-3-30	
名 古 屋 工 場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1-2	
大 阪 工 場	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-5	
兵 庫 工 場	〒679-0221	兵庫県加東市河高355-40	
九 州 工 場	〒820-0609	福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26	
第一技術研究所	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10	
第二技術研究所	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-1	
SKKグローバルセンター	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-12-2	
他営業所全国51ヶ所			



九州工場



大阪工場



兵庫工場



PT SKK KAKEN INDONESIA



SKK (S) PTE.LTD.



SKK CHEMICAL (M) SDN. BHD.



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.



SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.



SIKOKUKAKEN (LANGFANG) CO.,LTD.



大利根工場



神奈川工場



埼玉工場



名古屋工場



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない理由により電子公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<https://www.sk-kaken.co.jp/>